

かとり 議会だより

第7号

平成19年11月15日

発行 香取市議会
編集 議会報編集特別委員会

本号の概要

- ☆市政のここがきたい…P2～P5
- ☆決算審査特別委員会から…P5～P7
- ☆常任委員会の審査から…P7～P8
- ☆上程議案等議決結果…P8

〒287-8501 千葉県香取市佐原口2127 電話 0478(50)1217 FAX 0478(54)1882

9月定例会

一般会計補正予算など23議案を可決・承認

安心して安全なまちづくり推進条例を制定

平成19年9月定例会は、9月5日(水)から27日(木)までの23日間に行われてきました。本定例会には、一般会計補正予算案など議案が23件、発議案2件、平成18年度各会計決算にかかわる認定13件が提出され、いずれも原案のとおり可決・承認・認定されました。

今期定例会は9月5日に招集され、開会後、会期を27日までの23日間と決定。その後、歳入歳出予算に4億4230万3千円を追加し、補正後の総額を274億5881万5千円とする一般会計補正予算案、安心で安全なまちづくり推進条例、香取市総合支所設置条例の一部改正、佐原広域交流

拠点施設の取得についてなど議案第1号ないし第24号、認定第1号ないし第13号を議題とし、市長より提案理由の説明が行われました。



佐原の大祭(秋祭り)

9月定例会の日程

- 5日(水) 本会議
- 7日(金) 本会議
- 10日(月) 決算審査特別委員会
- 11日(火) 決算審査特別委員会
- 12日(水) 決算審査特別委員会
- 13日(木) 本会議
- 14日(金) 建設常任委員会
- 18日(火) 経済教育常任委員会
- 20日(木) 本会議(一般質問)
- 21日(金) 本会議(一般質問)
- 25日(火) 本会議(一般質問)
- 26日(水) 本会議(一般質問)
- 27日(木) 本会議

7日は初めに議案第1号ないし第24号を議題とし、4名の議員から質疑の後、各常任委員会に審査を付託。平成18年度各会計決算に係る認定第1号ないし第13号を議題とし、2名の議員から質疑の後、決算審査特別委員会を設置して付託しました。続いて請願3件、陳情5件についても、所管の常任委員会に審査を付託



架け替えを行う、加藤洲十二橋(水仙橋)

しました。

13日は10日に市長より撤回請求があった、議案第11号「香取市地域自治区の設置に関する条例の一部を改正する条例の制定について」市長より撤回理由の説明の後、承認されました。

20日は4名の議員が市政に関する一般質問を行い、21日も一般質問の日程でありましたが佐原区水道給水制限に係る対応で延会とすることを承認し、飯島取水口の現地調査を行いました。

25日は4名の議員が、26日も4名の議員が市政に関する一般質問を行いました。

佐原広域交流拠点施設の取得について可決

27日は初めに、議案第1号ないし第10号、第12号ないし第24号の23件、平成18年度各会計決算に係る認定第1号な

可決された主な議案

議案第1号 平成19年度香取市一般会計補正予算(第3号) 歳入歳出予算に4億4230万3千円を追加し、補正後の総額を274億5881万5千円とするもの、主な内容は、乳幼児医療対策事業扶助費(通院に係る助成対象年齢を4歳未満までの引き上げ及び通院1回、入院1日あたりの自己負担2000円無料化)に1000万8千円、加藤洲十二橋の架け替え工事費に1866万7千円、佐原駅周辺整備事業に駅北駐輪場整備のための測量・設計等経費に621万9千円、栗原小学校統合整備のための設計調査費に105万7千円、香取小学校屋内運動場及び小見川中央小学校屋内運動場耐震改修事業費に875万9千円、新島中学校耐震改修のための設計等委託費412万7千円など。

議案第10号 香取市総合支所設置条例の一部を改正する条例の制定について

市民にわかりやすい組織体制とするために、現行の組織体制が市民に定着してきたことから、総合支所のうち佐原区事務所を廃止するもの。

議案第16号 香取市重度心身障害者の医療費等の助成に関する条例の一部を改正する条例の制定について 県の補助要綱の改正により、医療費等の助成の対象外となる世帯の市民税所得割額の上限額が20万円以上から23万5千円以上に引き上げられたことに伴い、この上限額及び所得割額の算定の基準等を規定で定めるため改正を行うもの。

議案第22号 佐原広域交流拠点施設の取得について 取得する施設は、地域交流施設、水辺交流センター、舟運発着所、係留桟橋、エントランス広場、修理ヤード等を予定額9億8400万円で取得するもの。

いし第13号を議題とし、各常任委員長、決算審査特別委員長から委員会における審査内容・結果が報告され、討論の後、採決を行った結果、いずれも原案のとおり可決・承認・認定されました。

次に、請願第14号・第16号及び第17号、陳情第10号・13号を議題とし、各常任委員長から委員会における審査内容・結果が報告され、討論の後、採決を行った結果、請願

した。

一般質問

市政のついでがきたい。

9月定例会の一般質問は、9月20・25・26日の3日間行われ、12人の議員が市政について質問しました。主な質問と答弁の要旨は次のとおりです。

合併協議合意事項・小見川区に保健センターと文化会館を建設する。との決定が一向に歩き出さないでいるが

吉川昭治議員

問 伊地山一般廃棄物処理場隣接の養豚場による環境対策はどうなっているか。坂本飼料やミツカンフレシア環境被害が多い。市の先導で当該会社や近隣住民等で構成される悪臭防止連絡協議会等を立ち上げて定期会合等を開催されたいがどうですか。

答 悪臭防止連絡協議会については、環境保全条例に基づいて各事業者等指導していきたい。

問 水郷おみがわ花火大会の花火購入費は1300万円。香取市からも公費400万円が注入されている。競争入札に付すべきが適切ではないか。

答 地域に根ざした特徴が生かされ、発展できるような契約方法を模索しながら、他市の大会等も参考にし、主催者である水郷小見川観光協会と協議したい。

問 香取市高齢者クラブに対する助成金254万2千円が、平成20年からゼロになるというが配慮願えないか。市から2500万円もの助成金を得ている社会福祉協議会の一泊二日バス旅行1万2千円の是非について伺いたい。

答 総合計画を策定する中で、すべての助成金・補助金の精査をしている。補助金交付規則に基づいて実績報告書を提出していただき、精査しており、対象額については毎年協議している。

問 救急車・消防車、小見川総合病院の対応の是非について伺いたい。

答 火災発生時には、迅速・確実な情報、連絡体制に当たっている。病院と救急の連携については、医療機関までの搬送体制の強化や応急措置の

問 水道において、3つの事業団で基本料金設定に違いがある。今後、この基本料金をならびに従量料金の統一を目指す意向はあるか。

答 未収金累積額は18年度決算で1億1785万円。滞納者対策は、臨戸訪問を実施する一方で、悪質滞納者に対しては、水道給水停止措置を行っている。委託契約の履行期間が5年間で4億2787万5千円。業務内容は、上下水道使用料の検針から徴収業務、開栓及び閉栓等を行っている。

問 市内の学校施設に対する、上下水道の現在の延伸割合は。また今後、香取小学校への上下水道の延伸計画はどうか。

答 水道給水に係る認可区域内の状況は、香取小、香取保育所の2ヶ所が未給水。下水



小見川文化会館

問 水道料金の未収金総額・累積額はいくら位か。そして未納者・悪質滞納者対策はどうなっているか。また、料金徴収を委託している業者の、契約年数・委託金額・委託内容はこのようになっているか。

問 最近、「危機管理の甘さ」が問われている災害や事件・事故が多発している。危機管理とは、想定される「万が一の危機」に的確に対応することである。多岐にわたる危機に対して、マニュアルの整備はできているか。教育・訓練は実施されているか。



地震体験車訓練

問 自治体が苦手なのは、横との連携と組織の総合調整や緊急時の広報体制・住民を含めた教育・訓練実施である。今後の強化・充実をどのように進めるのか。

問 保育機能と教育機能を持った「認定こども園制度」が10月にスタートしましたが香取市として検討しているか。

答 緊急時の情報を速やかに伝達できる広報体制や、指令系統の一元化を図るため、連絡体制を明確にし、危機管理体制の充実を図りたい。

問 保育料の滞納が問題になっているが、香取市ではどの

水道料金の統一は

伊藤友則議員

問 薬物乱用防止指導員（行政協力員）の指名は適正か。

答 保健センターについては、香取市保健センター整備検討委員会にて協議している。文化会館は耐震診断結果が出た。所見は補強することにはなじまない建物であるとのことであつた。今後、全庁的な検討委員会を組織し検討したい。

問 市道十六島112号線を舗装するとの約束は何時履行されるか。

答 地元行政協力員と十分調整して、舗装整備を検討したい。

問 合併協議約束の小見川保健センターと小見川文化会館はいつ建設されるのか。

答 毎日点検は残留塩素濃度、色素、濁度、そして月1回の発がん性物質など。清掃は定期的に行い、中継ポンプ所については次亜塩素酸ナトリウムを追加注入し、配水残留塩素濃度を確保している。

香取市の危機管理体制は万全か

眞本丈夫議員

問 財政力指数（自主財源の向上） 経常収支比率（義務的経費の削減） 実質公債費比率（借入金残高の低減） 定員管理の適正度等についてどうか。

答 市税収納体制強化で納税課を設置、収納補助員の増員を行った。行政組織のスリム化に伴う人件費の縮減を行った。合併特例債を活用し施設整備を進めている。指定管理者制度の導入、民間委託推進及び事務事業の見直しを図りながら積極的に取り組んでいる。

市議会を傍聴して見ませんか。
 次の定例会は12月に開催されます。
 日程などのお問い合わせは議会事務局まで
Tel 50-1217



大畑浄水場（栗源区）

程度あるのか。また、滞納者は95万4千680円。滞納者数で60名。滞納整理については、抜本的な対策を講じた。平成19年度の滞納繰越額

香取市の観光振興対策について

高木 寛 議員

問 香取市は近年、佐原区を中心に観光客が増加しております。そこで、平成18年度における施設等の観光客数やそれに伴う経済効果はどの位なのか。

答 平成18年度では香取神宮の225万2千人をはじめ観光レクリエーション施設で40万2千400人、行・祭事及びイベントで129万5000人の総数531万9000人である。平成18年観光入り込み客数から推計した旅行総消費額は約105億500万円となる。

問 今後の香取市の発展には、観光の振興が不可欠ですが、その対策は。

答 魅力的な観光地づくりの推進、観光資源のネットワーク化や情報の発信も積極的に進め、観光客誘致に必要な施設



香取神宮

問 夏から秋にかけては台風シーズンであり、台風は毎年日本列島各地に大きな被害をもたらしている。

答 本年も7月に台風4号が関東地方を直撃し、香取市においても大変な被害が発生しているが、台風4号による農業施設等の被害状況はどうであったのか。

答 香取市全体で農道の路肩

問 予算面については、調整中。8月6日に、市内の関係団体及び関係各界の参画で実行委員会の設立総会を開催し、準備作業に着手した。

問 最近、国体の意義や環境も変わって来ているが、その経済効果等を含めた開催メリットは何か。

答 国体開催をビジネスチャンスとして活用できる。市民ボランティアの育成、香取市の自然・伝統文化の紹介、準備段階から生涯スポーツ活動を促進し、市民運動として取り組んでいきたい。

問 観光面や運営の体制、風土や歴史的な背景などの相違があるが、両観光協会の意見を十分伺いながら観光振興に努力したい。

問 千葉県で、平成22年に第65回国民体育大会が開催されます。千葉県での国体は、昭和48年の「若潮国体」以来、37年ぶりとなりますが、香取市としての予算面や組織面での対応は。

答 県では、本地域の地権者からの理解が得られ、用地買収を完了した。平成23年度までの計画で鋭意努力している。

平成22年「ゆめ半島千葉国体」について

問 この道路は、成田国際空港と鹿島臨海工業地帯を結ぶ大動脈です。しかしながら、小見川区神里地域の整備がかなり遅れておりますが、今後の整備予定は。

問 国体開催をビジネスチャンスとして活用できる。市民ボランティアの育成、香取市の自然・伝統文化の紹介、準備段階から生涯スポーツ活動を促進し、市民運動として取り組んでいきたい。

主要地方道成田小見川鹿島港線の整備について

農林災害復旧対策について

鈴木和彦 議員

問 夏から秋にかけては台風シーズンであり、台風は毎年日本列島各地に大きな被害をもたらしている。

答 本年も7月に台風4号が関東地方を直撃し、香取市においても大変な被害が発生しているが、台風4号による農業施設等の被害状況はどうであったのか。

答 収穫作業に影響が出ないように、7月24日に補正予算を専決処分させていただき対

問 予算面については、調整中。8月6日に、市内の関係団体及び関係各界の参画で実行委員会の設立総会を開催し、準備作業に着手した。

問 最近、国体の意義や環境も変わって来ているが、その経済効果等を含めた開催メリットは何か。

答 国体開催をビジネスチャンスとして活用できる。市民ボランティアの育成、香取市の自然・伝統文化の紹介、準備段階から生涯スポーツ活動を促進し、市民運動として取り組んでいきたい。

応じた。

農道や農業用水路の対策は

問 台風等による被害対策は、一般的な県道や市道においては緊急性や利用状況に応じた適切な対策が実施されているが、農道や農業用水路等の災害に対する復旧対策は、少々の災害は受益者負担という兼ね合いも考えられ、復旧対策は後手になりがちである。

現在、高齢者の方が農業を支えているような状況であり、農道や農業用水路の災害には行政の速やかな対応が欠かせない。

山田区においても農業施設の被害が大変に多かつたわけですが、農業施設の被害対策はどう進められたのか。

答 危険回避と正確な状況把握をするため、香取農林振興センター、JA、市役所建設サイドとともに調査班を編成し、複数の職員による現地調査を行った。調査結果に基づき、農道や農業用水路の維持・整備を行うとともに、土地改良区が管理する用排水施設などの維持・管理について支援をしたい。



台風4号による法面崩壊(山田区小川地先)

市営・県営住宅について

小川春雄 議員

問 市営・県営住宅の建設された目的と市民の要望に答えていくために今後の計画についてどのように考えているのか。

答 住宅に困窮する低所得者に対して、低廉な家賃で賃貸することにより、生活の安定と福祉の増進を図ることを目的としている。全体的に老朽化が進んでおり、改修・改築を検討したい。県営住宅については、今後10年間は建てかえの計画はないとのこと。

生活排水路と農業用排水路の活用について

問 生活排水路の流れが悪く、



市営住宅(小見川区・五郷内第一住宅)

問 大雨の時に道路に庭にと水が溢れてしまい、事故にもつながりかねないという所が多くあるが、道路の冠水箇所の数と今後の市の方針は。

答 大雨で冠水する場所は46カ所。排水の流末が確保できるところは順次事業を実施している。市道の場合は、地理的条件を調査し、計画を作成して進めたい。

問 土地改良区の管理する農業排水路と生活排水路とが一緒になり今後の排水整備が難しい所もあるようだが、市としてどのように調整していくのか。

答 地域ぐるみで行う農地・水・環境保全向上対策事業を支援しながら、土地改良区と農業排水路の管理について協議して対応を検討したい。

市民への連絡網と自立支援協議会について

問 防災情報や不審者情報を危険防止等を図る上からもメールを利用しての通信方法を実施しては。

答 市のホームページ上の「緊急情報モバイル版」で防災情報や警察・小中学校から寄せられた不審者情報を、登録者及び各学校へメール配信をしている。

問 障害者自立支援法が施行されて1年4ヶ月を経過しているが、市の協議会がいつ設置されたのか、今までの実施回数、今後の予定、取り組み状況とその効果は。

答 自立支援協議会は平成18年12月に県内で2番目に設置。18年度は4回の開催。本年度は7月に第1回、延べ6回の開催予定である。香取市障害者基本計画(計画期間は平成19から23年度)の策定協議を行っている。障害福祉計画の進行管理、福祉政策の展開活動に重要な役割を担っていただくことになる。

「地球温暖化防止条例」の制定を

田代一男 議員

問 一刻の猶予もない地球温暖化防止のため、香取市と市民が一体となり取り組めるように、「香取市地球温暖化防止条例」を制定する計画はないのか。

答 基準年度を平成18年度、計画目標年度を24年度として、平成20年3月策定を目的として作業を進めている。削減目標、実施の方法等は香取市環境計画策定委員会を設置し、実効性、効果のある計画を策定したい。

問 気候変動に伴う、巨大台風や大雨に備え、慢性化する

問 道路冠水や床下浸水などの災害を防ぐために香取市全域に「排水整備計画」を立てる予定はないのか。

答 県の河川整備計画や国土交通省の利根川水系河川整備計画の動向を注視し、排水施設等整備計画の策定に着手したい。

放課後子どもプランで子育て支援の充実を

問 放課後児童クラブで対象にならない小学校4年生から6年生までの放課後の居場所を確保するために期待される



消火器取り扱い訓練

市内の各事業者との協定はど

防犯・防災対策に万全を 谷田川充丈 議員

現在策定中の障害者基本計画に、県条例の趣旨を盛り込み施策に反映したい。音声コードの普及については、視覚障害者の方への通知や周知の推進を図り、活用について

問 防犯活動の一環として、市内の各事業者との協定はどうか。
答 香取市安全で安心なまちづくり推進条例の中で、市が適切な施策を実施し、地域住民、事業者などがお互いに連携・協力しながら防犯活動に取り組みるようにサポートしたい。
問 不審者、犯罪者情報は、迅速かつ円滑に行われているか。
答 香取警察署管内では、不審者等の事件が発生した場合、市に情報が送られ、内容によっては防災行政無線で市民に



香取市養護老人ホーム ひまわり苑

放課後こどもプランの計画はどうか。
答 事業全体の円滑な実施を図る組織として、放課後子どもプラン運営委員会を設置した。平成24年度を目標に、市内4地区に各1校、北小を含め計5校を計画している。
問 香取市養護老人ホームひまわり苑に入所されている無年金者15名の国民健康保険税の免除はできないのか。
答 生活保護法や老人福祉法により一定の措置が講じられている。また、国民健康保険税条例の減額規定で6割軽減を図っている。国民健康保険制度の趣旨から慎重な判断が必要である。

のようになっているか。
問 香取市安全で安心なまちづくり推進条例の中で、市が適切な施策を実施し、地域住民、事業者などがお互いに連携・協力しながら防犯活動に取り組みるようにサポートしたい。
問 市内には高校野球連盟に加入の高校は三校あり硬式の野球場は一つもない。佐原大谷津の市有地を利用して野球場、サッカー場、テニスコートをつくる考えはないか。
答 本年7月に、市が保有する公有財産等の有効活用・処

の移転の考えはあるのか。
答 施設開設58年を経過し、設備も老朽化している。不便の解消に努め、施設の補修等を図りたい。未契約である。公民館利用者、婦人会と協議し、今後のあり方について検討したい。佐原区におけるクレイコートは本テニスコートのみである。補修等の対応で学生・市民のスポーツの振興に役立てたい。

佐原野球場(諏訪上)は今後どのように活用するのか、一部借地であり地権者との契約は、老朽化している佐原第一公民館の活用方法は、佐原野球場(テニスコート)の移転の考えはあるのか。
答 施設開設58年を経過し、設備も老朽化している。不便の解消に努め、施設の補修等を図りたい。未契約である。公民館利用者、婦人会と協議し、今後のあり方について検討したい。佐原区におけるクレイコートは本テニスコートのみである。補修等の対応で学生・市民のスポーツの振興に役立てたい。

市有地の有効利用を 根本太左衛門 議員

知らせている。また、教育委員会では、あらかじめ登録してある方にメールで情報を一斉配信し、情報の共有化を図っている。
問 防災マップの作成状況はどうか。
答 防災マップには、洪水・土砂災害・津波・地震の4種類がある。現在、洪水ハザードマップの策定中である。浸水想定データ及び内水氾濫箇所のデータ収集、現地調査並びに過去の災害履歴の資料の

公共施設の整備を進める上で、文化会館は一つでよい
問 小見川区市民の意見を尊重し、規模の小さな公民館は



佐原第一公民館 (諏訪下)

分について検討する組織として、公有財産等活用検討委員会を設置した。香取市未利用財産活用基本方針案を検討中であり、大谷津地区開発についても、民間企業との連携・提携も含め、市民の意見を聞きながら検討したい。

収集・整理を行い、来年3月に完成し、4月に全戸配布する予定である。
問 災害時の各市町村(県外も含めて)との協定などはどのようになっているか。
答 県が主体となり、県内市町村間や消防・水道の相互応援協定を締結している。また、県が八都府市、関東隣県、全国都道府県における災害時の広域応援に関する協定を締結し、協力体制が整備されている。

方式を進めているが、今後、区事務所への人員配置や防災対策はどう考えているか。
答 防災については、市の重要な業務ですので、各区事務

問 行財政改革で本庁・支所方式を進めているが、今後、区事務所への人員配置や防災対策はどう考えているか。
答 防災については、市の重要な業務ですので、各区事務

問 佐原区の水道断水事故の教訓と対応策は。
答 一番の問題としては、市民の皆様が情報が十分伝わらなかつたことから、防災行政無線システム統合の中で、戸別受信機の設置を検討したい。さらに、広報車による広報の充実、電話対応窓口の一本化を図りたい。

問 地域防災計画の中で、一人暮らし高齢者や視覚・聴覚等の障害者、或いは要介護者を抱えた要援護家族の情報は福祉部局と共有して対応策を考えているか。
答 情報の共有については庁内において図られている。今後は、市民の生命等を守る上から、関係機関等が共有し、有効活用を図る必要があると考えている。

生活者の視点に立った 安全・安心なまちづくり 河野節子 議員

合併協議会で決定された

問 山田区における郷土資料展示施設は、地域に愛着を持つて、郷土を大切に作る教材として新市建設計画に盛り込

問 山田区における郷土資料展示施設は、地域に愛着を持つて、郷土を大切に作る教材として新市建設計画に盛り込

問 避難所や避難方法なども地元代表者と協議して決めるべきと思うが。
答 自治会等の自主防災組織を結成するよう働きかけ、その中で協議したい。

問 自治会等の自主防災組織による自主防災組織が佐原区内に88組織ある。今後、全市域に設立を推進したい。
問 避難所や避難方法なども地元代表者と協議して決めるべきと思うが。
答 自治会等の自主防災組織を結成するよう働きかけ、その中で協議したい。

問 地域防災計画の中で、一人暮らし高齢者や視覚・聴覚等の障害者、或いは要介護者を抱えた要援護家族の情報は福祉部局と共有して対応策を考えているか。
答 情報の共有については庁内において図られている。今後は、市民の生命等を守る上から、関係機関等が共有し、有効活用を図る必要があると考えている。

新市建設計画の中で、小見川文化会館の整備の位置づけ経緯を尊重し、今後、全庁的な検討委員会を組織して地域住民、地域協議会の意見を十分聞きながら市有地等の有効活用、または処分について検討したい。

問 山田区における郷土資料展示施設は、地域に愛着を持つて、郷土を大切に作る教材として新市建設計画に盛り込

問 山田区における郷土資料展示施設は、地域に愛着を持つて、郷土を大切に作る教材として新市建設計画に盛り込

問 中・長期的展望に立つて、将来当市の公立病院に勤務することを条件に、医学部志望の学生に学費を支給し、育成する考えはないか。
答 中・長期的な市の病院経営の総合的な方向性について五者協議の中で話し合っている。

問 中・長期的展望に立つて、将来当市の公立病院に勤務することを条件に、医学部志望の学生に学費を支給し、育成する考えはないか。
答 中・長期的な市の病院経営の総合的な方向性について五者協議の中で話し合っている。

問 医師の確保については継続して努力しながらも、小見川総合病院の現状を悪化させないために、常勤医の定着化を図る方策として特別手当の支給を考えてはどうか。
答 病院組合が行っている施策であり、病院組合及び協議会の中で協議するものである。

問 今年10月頃に本庁及び各区での実施を予定している。
問 医療体制の充実について
問 医師の確保については継続して努力しながらも、小見川総合病院の現状を悪化させないために、常勤医の定着化を図る方策として特別手当の支給を考えてはどうか。
答 病院組合が行っている施策であり、病院組合及び協議会の中で協議するものである。



AED(自動体外式除細動器)訓練

栗源・山田区へ都市計画税を導入するな 宇井正一 議員

問 栗源・山田区へ都市計画税を導入するな
宇井正一 議員

問 栗源・山田区へ都市計画税を導入するな
宇井正一 議員

問 栗源・山田区へ都市計画税を導入するな
宇井正一 議員

問 栗源・山田区へ都市計画税を導入するな
宇井正一 議員

問 栗源・山田区へ都市計画税を導入するな
宇井正一 議員

既存の施設の利用も含めた常設展示可能な施設の検討をしたい。

問 多重債務者は借金の返済に追われ自殺に追い込まれるなど大変です。行政としてのしつかりとしたサポートが必要では。

答 市民生活課人権市民相談班が随時、市民相談に応じているほか、消費生活相談員による相談を毎週木曜日、弁護士による相談を第二、第四水曜日の月二回実施し、対応している。



郷土資料 (山田区)

市長が要介護認定者に税金の障害者控除適用を約束

問 市民税の減免規定を誰でも分かりやすく、使いやすくするべきではないか。要介護認定者の障害者控除の取り組みはどこまで進んでいるか。

答 認定基準を定め、障害者控除対象者認定書を発行して、平成19年分確定申告から適用する。広報かとり・市のホームページへの掲載、介護施設等へのお知らせをしたい。

問 甘藷栽培農家はでん粉工場の休業で困っている。市と

しての対応策はないのか。

答 JAとともに県に対し、でん粉工場の存続と規格外品の利活用について要請している。また、栽培技術の向上、収穫時期の調整など行いながら規格外品の抑制に努めた

問 都市計画税は佐原・小見川の農村部では固定資産税と二重取りになっていて見直すべきではないか。栗源・山田区の都市計画区域の設定は現段階では必要ない。どのような方針か。

答 都市計画税は、都市計画区域の土地・家屋に課税する

問題ありの後期高齢者医療制度は凍結を 坂本洋子議員

問 保険料の年金天引きや差別医療の導入など高齢者にとって大改悪となる。窓口全額払いの資格証の増加が心配されるが対策は。保険料の試算の公表と十分な市民説明会を求め。

答 資格証の発行については、千葉県後期高齢者医療広域連合において、条例等で検討中。試算については、後期高齢者広域連合で試算中。説明会については、実施する予定である。

問 メタボの予防にだけ重点を置く新健診制度で予防行政の後退はないか。市民は保険センター等での従来通りの住民健診を希望するが、対応は。

答 40歳以上の被保険者を対象に、他の検診と連携を図り、実施する予定である。

問 高すぎる国保税、滞納世

ものであり、佐原市・小見川町都市計画税条例の規定により課税している。栗源区・山田区は対象外である。税率については不均一課税になっているが、早急に統一したい。

公共事業の契約は雇用条件を守る地元会社へ発注を

問 公共事業は不祥事や談合問題が多く報道されているが、入札方式の改善、地元優先・雇用条件を守る業者に配慮する総合評価方式の導入計画は。

答 今後、他市の状況を参考に検討したい。

最後の命綱、生活保護を受けやすく

問 生活保護のしおりを希望者に配布。広報紙への周知・掲載については検討したい。本人の意思に基づいて申請書を交付している。随時、調整会議を行っている。今後も適正な対応に努めたい。

問 都市計画道路仁井宿、与倉線の進捗状況と、牧野2・3番地周辺の生活排水の改善を。

答 平成18年度末の状況は、用地買収が主なもの。牧野2・3番地周辺の排水については調査し、可能性を検討したい。

問 コミ袋の統一は市民に負担を転嫁する前に徹底的に焼却ゴミ削減論議の先行を。

答 香取市全体の処分費、施設償却費、管理費等を総合的な観点から、減量化につながる料金の決定をしたい。



栗源小学校

決算審査 特別委員会 から

決算審査特別委員会委員

委員長	田山 一夫
副委員長	眞本 丈夫
委員	谷田川 充丈
委員	久保木 宗一
委員	金親 孝夫
委員	河野 節子
委員	増田 一男
委員	平松大 建明

総務部関連の事項

問 職員の定員管理は。無駄を省き、合併によるスケールメリットを活かし、人的な圧縮を図ることが新市香取市の財政基盤の確立に不可欠と考えている。この人的な圧縮と総支所方式を両立し続けることは難しい状況にあることから、今後議会に諮りながら、また、市民の理解を得ながら改善すべきところは改善し、職員定員適正化計画の目標に到達したい。

問 職員の健康管理にかかると産業医の相談業務内容は。

答 平成18年度には療養休暇を50名が取得した。職場環境について、管理職よりの聞き取り調査を実施すると共に産業医による相談業務を行っている。

問 職員研修は、延べ65人に行っているが、今後の予定は。

答 業務の複雑広範化に伴い

平成18年度の一般会計、各特別会計及び水道事業会計等の各決算は、決算審査特別委員会にて審査されました。この審査内容と結果は、9月定例会最終日に委員長から報告があり認定されました。報告のなかの主な質疑・指摘事項等の要旨は次のとおりです。

実務研修を行うとともに、将来の管理職育成という面からも積極的に実施したい。

問 市民より広報「かとり」へお悔やみ(死亡)欄の掲載希望があるが。

答 県内36市中掲載をしている市はない。個人情報保護等総合的観点から掲載はしない方針である。また各区分ごとの掲載量については、偏りのない情報提供に心がけ、区ごとの掲載ページを設けることはしていない。

問 納税貯蓄組合の廃止がある程度周知されたことにより、本年度以降は徴収率への影響はないと考える。

問 各種団体等に対する補助金の交付状況は。

答 平成19年3月に行財政改革大綱及び集中改革プランを策定し、その中で各種補助金の見直しを行っている。9月中に500件強の補助事業について見直しのための調整を行うとともに、各種団体補助金にあっては終期の設定、補助の必要性の見直しを行う。

問 決算における財政指標は。

答 財政力指数については対前年度比0.026ポイント改善され、0.564となった。これは、分母となる基準財政需要額が減額になったことによる。また、経常収支比率は見込みの時点で88.0%程度と予測したが、扶助費が伸びたため、対前年度1.5ポイント増の91.4%となった。

問 小見川用地管理業務負担金150万円の総務費雑入は何か。

答 これは千葉県土地開発公社との協定に基づく維持管理負担金であり、小見川区南地区の地元協議会の運営費と当該用地の草刈経費に充当している。

問 市内循環バスの今後の運行は。



循環バス (山田区)

問 廃止に伴い納付に行くのが面倒だ、納付場所が分からないという市民の声があった。廃止初年度のため徴収率への影響はあったと思われるが、

問 納税貯蓄組合の廃止によりどのような影響があったのか。

答 廃止に伴い納付に行くのが面倒だ、納付場所が分からないという市民の声があった。廃止初年度のため徴収率への影響はあったと思われるが、

〔答〕 香取市公共交通体系検討委員会は、昨年1回、本年2回の計3回開催し、循環バスの状況と乗降者についての調査を行い、香取市の公共交通体系の基本方針、それにかかる具体的な取り組み等について了解を得た。本年度中に具体的路線を示すとともに、道路運送法も改正されていることから新しい事業の可能性もある。公共交通とは別に福祉的な運用案も示したい。

市民環境部関連の事項

〔問〕 防犯灯の設置要望が多いと思うが、今後の防犯対策・活動をどのように行っていくのか。

〔答〕 防犯灯の設置や香取警察署管内防犯組合との連携で自主防犯活動を積極的に、安心して安全なまちづくりの推進にあたりたい。

〔問〕 ゴミ処理について、なぜ清掃組合の統合に至っていないのか。

〔答〕 香取市東庄町清掃組合と香取広域市町村圏事務組合が統合することで経費の削減、事務の効率化をはかれるが、まずは佐原区と栗原区の統一的な料金設定を優先したい。

〔問〕 香取広域市町村圏事務組合で運営している「北総斎場」と香取市で運営している「おみがわ聖苑」の使用料を統一できないのか。

〔答〕 香取広域市町村圏事務組合と調整を図りながら香取市内で統一する方向で事務を進めていく。

〔答〕 後期高齢者医療制度の開始に伴い、応能割の統一をしたい。また、滞納者対策としては保険証発行時の納税相談、定期的な電話催告、家庭訪問を行なっている。



おみがわ聖苑

健康福祉部関連の事項

〔問〕 手話通訳者の派遣等について、勤務日数を増やすことはできないのか。出張範囲は市内を越えた生活圏とできないのか。

〔答〕 勤務日数や出張範囲、申請書類の受付方法等も含め検討したい。

〔問〕 各区で地域福祉活動を行っている社会福祉協議会への補助金の考え方は。

〔答〕 佐原区は受託事業運営のために補助金は無く、3区の協議会については引き続き補助していきたいと考えるが、社会福祉協議会の組織統合による事業計画にそって、補助方針を決定したい。

〔問〕 小見川総合病院の収支はどうなっているのか。耐震補強工事は実施しているか。

〔答〕 収益的収支で総収益約27億8000万円、総費用約30億6000万円、純損失約2

億8000万円である。また、建築年については昭和49年で33年が経過、耐震補強は未整備である。

〔問〕 民生委員児童委員事業の中で主任児童委員はどのような活動を行っているのか。

〔答〕 現在29名の主任児童委員がいる。18年度は児童問題を考える会の意見交換会や研修会等を定期的に開催し、区域を担当する民生委員・児童委員と一体となり児童の健全育成活動を行っている。

〔問〕 本年1月に香取市民体育館で「香取市成人式」を実施したが、市の施設を利用してなぜ会場設営委託料がかかるのか。

〔答〕 ステージの設置・椅子の借上げ料で75万円の支出をした。今年度についても来年1月13日の日曜日に市民体育館で予定している。

〔問〕 佐原文化会館の舞台・照明・音響操作の作業委託は随意契約で行っているのか。

〔答〕 近隣に経験豊富な業者が無いために、ここ3年間は随意契約により、NPO法人ま

ちおこし佐原の大祭振興協会にお願している。

〔問〕 給食費の滞納者対策は。

〔答〕 これまでは各区の給食センターが戸別訪問等で滞納整理を行ってきた。今年度からは、教育部が全体を把握して徴収の強化に取り組んでいる。

〔問〕 今後の語学指導の考え方は。

〔答〕 今年度から外国青年英語指導助手(ALT)を各中学校に1名配置した。今後、小

学校への配置の検討も含めALTをどのように活用していくか研究したい。

〔問〕 佐原学校給食センターの改築の考えはあるか。

〔答〕 旧佐原市における経過を十分に踏まえ、香取市全体の学校施設のあり方を考える香取市学校等適正配置検討委員会の中で、改築に向け協議している。

〔問〕 香取郡市文化財センター精算金とは何か。これまでに発掘された多量の文化財の適当な処理方法はないのか。

経済部関連の事項

〔問〕 低タンパク米「ゆめかなえ」の農林水産高度化事業とは、どのような内容か。

〔答〕 この事業は千葉県が国庫補助事業として実施し、県・市・JA・県立衛生短大などの共同研究により進めている事業である。なお、香取市は種子生産と販路の拡大について担当している。

〔問〕 農業振興事業の中の農業後継者新規就農助成金の交付については、香取市の主要産業である農業にとつて大変有意義なものであるが、その具体的な内容は。

〔答〕 香取農林振興センターで開催している農業経営体育成セミナー受講者に対し、入学の日から3年間の内の1年間、月額4万円、12カ月で48万円

を交付するものである。

〔問〕 農道整備事業のふるさと農道緊急整備事業については、小見川区と栗原区で同じふるさと農道でありながら、幅員に差がある理由は。

〔答〕 農道の延長線にある市道との関連から幅員を決定したものであり、利用状況などを考慮しながら今後も農道整備事業を適切に進めて行きたい。

〔問〕 決算書には水郷佐原花火大会の負担金は記載されているが、水郷おみがわ花火大会については記載がない。その理由は。

建設部関連の事項

〔問〕 水郷おみがわ花火大会については、同頁の観光協会特別事業補助金630万円の内の300万円が支出されている。また、水郷佐原花火大会は昨年をもって終了となり、今後は水郷おみがわ花火大会を香取市の花火大会として一層盛り上げて行きたい。

〔問〕 TMO計画支援事業の中で行われている「小江戸佐原お散歩バス」については、どのような助成を行っているのか。

〔答〕 当該バス運行や外国人観光客誘致事業を行っているNPO法人コンヴィヴィアルに対し観光ルネサンス補助金として300万円を助成している。

〔問〕 山車会館運営事業の山車展示物保険料については、今期定例会で報告第1号として損害賠償の額を定めることについて報告があったが、この賠償金は保険金給付の対象となっていないか。

〔答〕 今回の事故について保険会社と交渉した結果、空調装置の不具合が発生し、2台展示されている内の1台の山車の車輪だけに損傷が発生したものであり、当該木材の材質・性質による損傷との理由により、保険金の支給対象とはならなかった。今後は、空調装置の点検等を行い、万全を期したい。

〔問〕 市営住宅の維持管理について、収支の状況は。

〔答〕 建物の償却費などの面を除いて、単純に住宅使用料と維持管理費を比較すると赤字とはなるが、今後の耐震化工事などを含め適切に対処していきたい。

〔問〕 公園維持管理費の中で、樹木維持工事費の内訳は。

上下水道部関連の事項

〔問〕 水道事業及び簡易水道事業の今後の収支見通しは。

〔答〕 経費の削減を行いながら、料金の改定を含め、収支の改善を図りたい。

〔問〕 下水道事業の納期前納付報奨金とは何か。

〔答〕 小見川区の受益者負担金の納付に伴うものである。

〔問〕 下水道事業の改築診断業務委託の結果は。

〔答〕 小見川浄化センターの流量調整槽の設置、回分槽・汚泥脱水装置の改築が必要である。

〔問〕 佐原区における去る9月8日の断水事故についての今後の対応は。

〔答〕 今回の事故を踏まえ、断水時の対応マニュアル・広報



小江戸佐原お散歩バス(パILINGALバス)

常任委員会の審査から

マニユアル等の作成を行うと 佐原・小見川区域の配水管を伴い、平成19年度事業として、 接続する工事を実施する。

総務企画常任委員会

市議会には、4つの常任委員会が設置されており、本会議で付託を受けた議案・請願等、各所管事項について詳細にわたり審査を行っています。

付託された案件

議案第1号 平成19年度香取市一般会計補正予算(第3号)

議案第5号 平成19年度香取市土地取得事業特別会計補正予算(第1号)

議案第10号 香取市総合支所設置条例の一部を改正する条例の制定について

議案第12号 政治倫理の確立のための香取市長の資産等の公開に関する条例の一部を改正する条例の制定について

議案第13号 香取市個人情報保護条例の一部を改正する条例の制定について

議案第14号 香取市個人情報保護条例の一部を改正する条例の制定について

議案第15号 香取市特別職の職員の給与並びに旅費及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定について

議案第20号 佐原市都市計画税条例の一部を改正する条例の制定について

議案第21号 小見川町都市計画税条例の一部を改正する条例の制定について

議案第24号 専決処分第6号 平成19年度香取市一般会計補正予算(第2号)

請願第5号 小見川区に香取地域合併協議会で決定された保健センター整備事業(継続、事業実施期間H18、19、概算事業費4億2千2百万円)及び文化会館整備事業(新規、事業実施期間H19、21、概算事業費1億1千万円)につきこれを速やかに着手されたい請願

請願第12号 場外馬券売場設置反対の決議を求める請願

陳情第5号 香取市油田地先における場外馬券売場設置計画の推進に関する陳情

陳情第7号 開発計画(場外馬券売場)についての陳情

陳情第8号 東朋グリーン株式会社による公営競技場外施設(馬券売場)設置に反対の陳情

陳情第9号 場外馬券売場設置反対の決議を求める陳情

陳情第10号 東京湾アクアラインでの本年度中にも一段の大幅な値下げによる社会実験を行うことを要請する陳情

陳情第12号 東朋グリーン株式会社による公営競技場外施設設置に反対の陳情

議案第1号について、小中学校35校で耐震診断が必要な棟数はどの位あるのか。耐震改修が終了するの何年位かかるのか。との質疑があり、昭和56年以前の建物は53棟あり耐震診断は終了している。耐震改修が必要な棟数は小学校13校で18棟、中学校4校で15棟の33棟ある。このうち、今後、耐震改修の必要な棟数は22棟で予算の問題もあるが5年程度で終了したいとの答弁がありました。

また、議案第10号 香取市総合支所設置条例の一部を改正する条例の制定については、今後の総合支所の在り方はどうなるのか。との質疑があり、総合支所は存続させつつ、住民サービスの低下をさせないよう機構改革の中で本庁方式に移行したいとの答弁がありました。

採決を行った結果、議案10件については、いずれも原案

福祉環境常任委員会

付託された案件

議案第2号 平成19年度香取市国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号)

議案第3号 平成19年度香取市老人保健事業特別会計補正予算(第1号)

議案第4号 平成19年度香取市介護保険事業特別会計補正予算(第1号)

議案第6号 平成19年度香取市火葬場事業特別会計補正予算(第1号)

議案第9号 香取市安全で安心なまちづくり推進条例の制定について

議案第16号 香取市重度心身障害者の医療費等の助成に関する条例の一部を改正する条例の制定について

議案第17号 香取市小規模埋立等による土壌の汚染及び災害の発生防止に関する条例の一部を改正する条例の制定について

議案第18号 香取市墓地等の経営の許可等に関する条例の一部を改正する条例の制定について

議案第23号 香取市東庄町病院組合規約の一部を改正する規約の制定に関する協議について

陳情第13号 後期高齢者医療制度を抜本的に見直すよう国への意見書採択を求める陳情

議案第9号 香取市安全で安心なまちづくり推進条例の制定について、独居老人が市内に2500人以上いるが、これら独居老人の状況を把握するため事業所等と何らかの協定は結ばれているか。との質疑があり、現在協定は結んでいないが指摘の事業所等との連携について、福祉関係の事業者も含め連携を検討

したい。との答弁がありました。

また、議案第17号について、条例第3条第5項、周辺住民への説明と同意が削除されているがその理由は何か。との質疑があり、本規定が条例規則、指導要綱に重複しているため、規則で定めることとし、条例から削除した。との答弁がありました。



耐震改修を行う小見川中央小学校体育館

また、議案第17号について、条例第3条第5項、周辺住民への説明と同意が削除されているがその理由は何か。との質疑があり、本規定が条例規則、指導要綱に重複しているため、規則で定めることとし、条例から削除した。との答弁がありました。

また、SPCの運営・維持管理にあたっては出荷者協議会や事業に影響が出ないよう、十分な監視を要望する。との意見がありました。

採決を行った結果、議案3件については、いずれも原案のとおり可決すべきものと決しました。

次に、討論段階において、議案第17号について、環境保全の観点から、香取市の残土条例は残土事業者にとり厳しい内容とすべきであり、本条例の改正に反対する。との意思表明がありました。

次に、陳情第13号について、保険料については、高齢者にとすべきものと決しました。

採決を行った結果、不採択

建設常任委員会

付託された案件

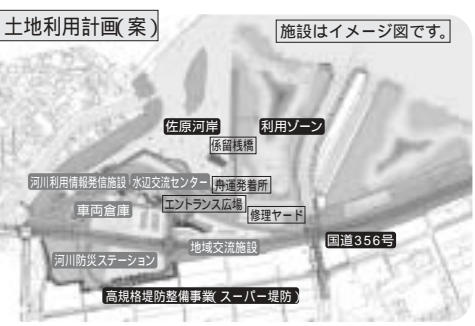
議案第7号 平成19年度香取市水道事業会計補正予算(第1号)

議案第8号 平成19年度香取市簡易水道事業会計補正予算(第1号)

議案第22号 佐原広域交流拠点施設の取得について

陳情第11号 小見川区上小堀地区市道に関する陳情

陳情第14号 利根川堤防より三ノ分目新田に通ずる市道橋改善陳情



佐原広域交流拠点施設イメージ図

議案第22号について、国土交通省と特定目的会社(SPC)が佐原広域交流拠点PFI事業の契約をし、香取市は国土交通省と施設建設について受託契約をするが、SPCとの関係はどうなるのか。また、運営主体はSPCなのか。出荷者協議会との関係は。との質疑があり、香取市は施設建設を、国とおしてSPCへ委託することとなる。維持管理・運営については、直接SPCへ委託することになり、レストラン運営や物産販売についてもSPCが運営主体となる。また、農産物や特産物の生産者は、出荷者協議会をとおしてSPCへ販売を委託することになる。との説明がありました。

また、SPCの運営・維持管理にあたっては出荷者協議会や事業に影響が出ないよう、十分な監視を要望する。との意見がありました。

採決を行った結果、議案3件については、いずれも原案のとおり可決すべきものと決しました。

経済教育常任委員会

付託された案件

議案第19号 香取市中小企業資金融資条例の一部を改正する条例の制定について

請願第14号 悪質商法を助長するクレジットの被害を防止するため、割賦販売法の抜本的改正に関する請願

請願第16号 学校図書館の図書整備充実を求める請願

請願第17号 稲作農家に労働者並みの労賃と再生産を確保するため「2万円米価」を保障するよう、国に意見書提出を求める請願

議案第19号は、信用保証協会の補償融資について、本年10月1日から責任共有制度が導入されることにより現在、信用保証協会が行っている100%保証について、保証協会と金融機関が責任を共有することとし、信用保証協会が80%、金融機関が20%の保証負担割合とすることに伴う改正である。との説明がありました。

また、金融機関の責任共有制度の導入により、融資の際、金融機関の審査が厳しくならないか。との質疑があり、全国統一の保証制度として小口零細企業保証制度が同時に創設され、信用力の弱い小規模事業者についての配慮がなされている。との答弁がありました。

採決を行った結果、原案のとおり可決すべきものと決しました。

次に、請願第14号について、クレジット会社が返済能力の無い者に貸し付けている事例は多くあるのか。との質疑があり、市民相談において、金銭貸借の相談が56件、法律相談において、金銭貸借の相

談が31件あった。との答弁がありました。

また、請願第16号について、学校図書は、学校の規模により整備基準があるのか。との質疑があり、学校図書館に整備される図書については、学校図書館図書標準に定められている。との答弁がありました。

次に、請願第17号について、本年においても昨年と比較し米価が下落し、稲作農家は大変な苦境にある。稲作農家を

守り本市の基幹産業である農業を守ることは必要である。との意見がありました。

その後、討論段階において、この請願の願意である、米1俵2万円が現実的に果たして妥当であるか、また、その財源はどのように手当てするのか、具体性のある要望をすべきである。稲作農家の厳しい状況は理解しているが、本請願の内容では、採択に反対せざるを得ない。との意思表示がありました。

採決を行った結果、請願第14号、第16号の2件は採択、請願第17号は不採択と決しました。

9月定例会 上程議案等議決結果

Table with 6 columns: 議案番号, 件名, 結果, 議案番号, 件名, 結果. It lists various municipal resolutions and petitions with their respective outcomes.